

令和5年度 東近江市地方創生施策の実績

定住移住

●定住移住補助金（新築住宅取得又は住宅改修費の一部を補助）

区分	対象	補助上限額	実績
新築等 取得	中学生以下の子どもが いる世帯	上限20万円（1/5）	81件 16,030千円
	Uターン者	上限20万円（1/5）	40件 8,000千円
改修	39歳以下で結婚し新生活 をはじめめる世帯	29歳以下 上限60万円 それ以外 上限30万円	3件 1,200千円
	市民（住み続けるための 住宅リフォーム）	上限15万円（1/10） 工事費50万円以上	111件 14,558千円
	空家バンク物件（調整区 域・旧耐震）を購入し、 居住のため改修等する者	改修20万円（1/5） 建替50万円（1/5）	1件 200千円

●移住相談会

	開催日	参加組数
移住相談会（東京）	6月24日	5組
	7月9日	8組
	8月6日	9組
	9月16日	16組
移住相談会（大阪）	2月17日	2組
	7月22日	12組
オンライン移住相談会	2月10日	8組
		2組



●定住移住ツアー（取扱：東近江市観光協会）

		参加組数	参加者数
就農ツアー （1泊2日）	9月30日、10月1日	3組	5人
	10月14日、15日	3組	4人
里山保育	11月1日	2組	2人

◇定住移住パンフレット「東近江物語」をリニューアルしました



定住移住パンフレット「東近江物語」を5年ぶりにリニューアルしました。

先輩移住者へのインタビューを掲載し、その魅力的なエピソードを通して、本市への移住がイメージできる内容となっています。

◇オーダーメイド移住体験 ～Visit Higashiomi～



東近江市への移住を考えている人を対象に個々の移住希望者に合ったよりきめ細かい体験ができるよう、1グループ4人程度の少人数での移住体験事業を実施しました。

利用数 7組 12人

●婚活支援

登録者数 86人 成約数 2組

●移住相談を通じた移住者

移住実績 4件 8人

●空家バンク

◇東近江市住まい創生センター

令和3年6月15日に一般社団法人東近江市住まい創生センターを設立し、空家・空店舗の所有者と空家・空店舗を利用したい人とのマッチングを進めています。

空家バンク登録・成約件数
（令和6年3月31日現在）

登録：空家を登録して「売りたい」「貸したい」件数
希望：空家を「買いたい」「借りたい」件数

	内売買	20件		内売買	19件		内売買	18件			
登録件数	30件	内賃貸	7件	希望件数	43件	内賃貸	11件	成約数	23件	内賃貸	5件
	どちらでも良い	3件		どちらでも良い	13件						



雇用創出

●企業誘致

支援メニュー	対象	支援内容	実績
立地促進奨励金	製造業、運輸業、情報通信業、研究機関、宿泊業	新設、増設による新たな投資により取得した資産にかかる固定資産全相当額（上限年間1億円×3年間）	32件
商業施設立地促進奨励金	商業	市が指定する区域内において自ら小売事業を行う事業者が投下固定資産総額 1億円以上 建築面積 3千平方メートル以上の施設を新設した場合（上限年額5千万円×6年間）	0件
雇用促進奨励金	東近江市の住民を新規雇用（正社員）し、継続して雇用した実績	新規雇用者数×10万円（上限2千万円×3年間）	10件

●空店舗改修・起業支援

支援メニュー	支援内容	実績
空店舗改修支援事業補助金	空店舗を利用し、開業する事業者に対して改修費用の50パーセントを補助（上限100万円）	2件
中心市街地商業等空店舗等再生支援事業補助金	中心市街地にある空店舗を利用して開業する事業者に対して、店舗改修費用の50パーセントを補助（上限300万円）	0件

◇女性のための創業塾

カフェ、サロンなどの創業に興味があり独立開業を考えている女性を対象に、必要な基礎知識などを学ぶ講座の開催を支援しました。

参加者28人
開業8人(うち市内6人)

主催 東近江市商工会



◇SATSUKI-RO (夢をかなえる古民家)

新たな活動や出会い、挑戦の場であり、八日市駅周辺のにぎわいを創出する拠点の運営を支援しました。

利用者数 5,567人



レンタルキッチン

↑コワーキングスペース
←レンタルスペース

運営：一般社団法人八日市まちづくり公社

◇ようかいち起業塾

「いつかは起業したい」「好きなことを仕事にしたい」という人を対象に、全5回の講座の開催を支援しました。

参加者29人
開業14人(うち市内13人)

主催 八日市商工会議所



◇コミュニティビジネス支援

多様化する地域課題をビジネスの手法で解決を目指す事業者の上げを支援しました。

実績：2団体



「考えるきっかけを」ドキュメンタリー映画で世界を知る上映会事業
学び舎 木火土金水



ママパスでつながる「ひとりぼっちにしない」子育て支援プロジェクト
ばれっとしが東近江

◇しごとづくり応援センター

市内事業所が必要とする人材を確保するため、職業紹介や体験実習など、就労に向け支援しました。

事業所 新規登録数	求人票 登録数	求職者 登録数	職場体験 実習件数	職場見学 件数	紹介件数	採用者数
12	630	35	36	36	14	11

農産物ブランド化・就農

● 耕地面積・農業算出額

【近畿地方 市町別】

耕地面積 (R5)			農業産出額 (R4)			代表的な耕種又は畜産
1位	東近江市	8,300ha	1位	南あわじ市	250億円	野菜
2位	長浜市	7,890ha	2位	紀の川市	191億円	果実
3位	丹波市	5,450ha	3位	神戸市	136億円	野菜
4位	高島市	4,980ha	4位	田辺市	123億円	果実
5位	豊岡市	4,880ha	5位	丹波市	121億円	肉用牛
			6位	有田川町	114億円	果実
			7位	五條市	113億円	果実
			8位	豊岡市	112億円	鶏
			9位	東近江市	107億円	米



参考 平成29年データ

耕地面積 (H29)		農業産出額 (H28)		1位の耕種又は畜産		
1位	東近江市	8,470ha	1位	南あわじ市	266億円	野菜
2位	長浜市	8,010ha	2位	紀の川市	181億円	果実
3位	丹波市	5,620ha	3位	神戸市	161億円	肉用牛
4位	甲賀市	5,200ha	4位	有田川市	131億円	果実
5位	高島市	5,120ha	5位	豊岡市	122億円	鶏
			6位	五條市	107億円	果実
			7位	東近江市	107億円	米

● 就農支援

支援メニュー	内容	補助上限額	実績
新規就農マッチング事業	NPO法人愛のまちエコ倶楽部と連携し、新規参入や第三者継承を支援		1件
集落営農リーダー育成補助	農業用ドローンの免許取得に必要な経費 農業関係の専門研修に必要な経費	上限10万円 (1/3)	6人 246千円
次世代担い手確保・育成支援補助	新規就農者にハウス設置や空きハウスの修繕等に対して補助		6件 3,578千円
新規就農者育成総合対策経営発展支援事業	50歳未満の認定新規就農者に経営が安定するまでの間投資資金を交付	年間上限150万円 最長5年間	4件 6,000千円
集落営農活性化プロジェクト促進事業	集落営農の活性化に向けたビジョンづくり、その実現に向けた人材の確保などの取組を支援	各メニュー 合計1,000万円	専従者1名 1,000千円



● 儲かる農業への転換

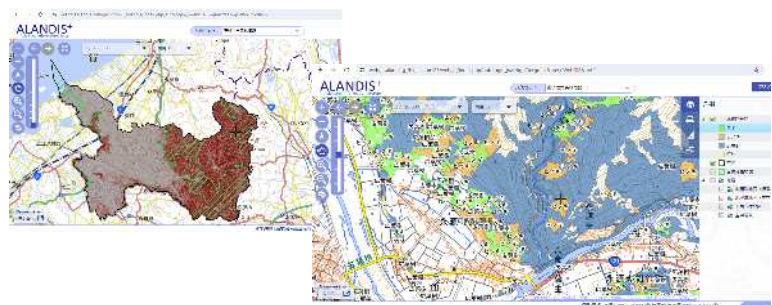
支援メニュー	内容	補助上限額	実績
水田野菜生産拡大推進事業補助	農業所得の向上と市内産野菜の自給率向上のため、野菜の生産を拡大し、生産に取り組む農家を支援	拡大した面積 (10a当たり) 1年目8万円、2年目3万円、 3年目1万円	16件 2,822千円
高収益作物生産振興事業補助	水田等を高度に利用し、野菜等を周年栽培できる輪作体系の確立及び収益性の高い野菜、果樹等の生産振興に資するため、生産等に必要の機械施設の整備を支援	メニューにより上限 5~100万円 (2/10~5/10)	33件 6,119千円

● 林業の振興

◇ 森林クラウドシステムの導入

スギ、ヒノキ等の樹種の分布が確認できる林相図のほか、谷や尾根といった山の地形が立体的に確認できる赤色立体図等を森林所有者や林業関係者が共有し、森林整備等に活用できるシステムを導入しました。

【デジタル交付金 (デジタル実装)】



子育て支援・教育

●出産

◇東近江市産後ケア事業

出産後1年未満のお母さんの身体や心をケアするため、助産所や助産師などによる育児サポートを実施しました。短期入所型、通所型、居宅訪問型から選択できます。

◇不妊・不育症治療費の一部助成

不妊治療のうち、治療費が高額となる体外受精又は顕微授精による治療費などや不育症の検査・治療費の一部を助成しました。



●子育て支援

◇見守りおむつ宅配便

1歳未満児がいる家庭に、毎月1,500円相当のおむつなどを専門のスタッフが宅配し、育児世帯の経済的な負担の軽減と子育て家庭の見守り活動を実施しました。



◇保育料軽減

第3子以降の保育料を兄弟の年齢にかかわらず、その世帯の所得に応じ、無料又は半額に軽減しました。

【軽減内容】※所得制限有
第1階層～第7階層は無料
第8階層～第13階層は半額



◇乳幼児・子ども医療費助成

乳幼児・小学生・中学生が通院や入院した場合の医療費を所得制限なしで助成を実施しました。

【自己負担額】

乳幼児 無料

小学生・中学生

入院 1,000円/日 (月額上限14,000円)

通院 500円/月(1医療機関)

調剤は無料

●里山保育

市内の幼稚園や認定こども園の5歳児を対象に、体験を通じて身近な自然の楽しさを知ってもらう里山保育事業を実施しました。また、市民団体「東近江さとやまNannies」との協働により、実施園を拡大しました。

令和4年 12園 ⇨ 令和5年 15園

【デジ田交付金(推進)】



●保育士確保

◇「保育の仕事」見学・体験を開催 10月23日

保育の仕事に関心のある人や保育士資格又は幼稚園教諭免許を持っていて復職などを考えている人を対象に、見学・体験を行いました。



参加者 1人

◇「保育の仕事 就職フェアin東近江」を開催 5月27日・10月21日

保育の仕事に興味があり、就職を考えている人を対象に、市内の幼児施設についての話や保育教諭の体験談の発表、また民間園から園の施設や保育理念の紹介を行い、保育人材の確保に努めました。

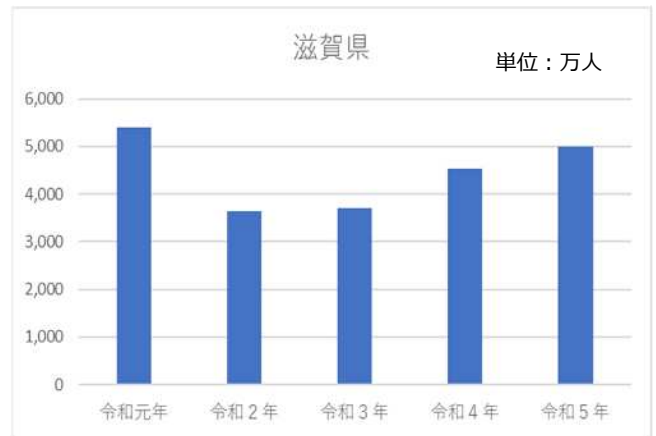
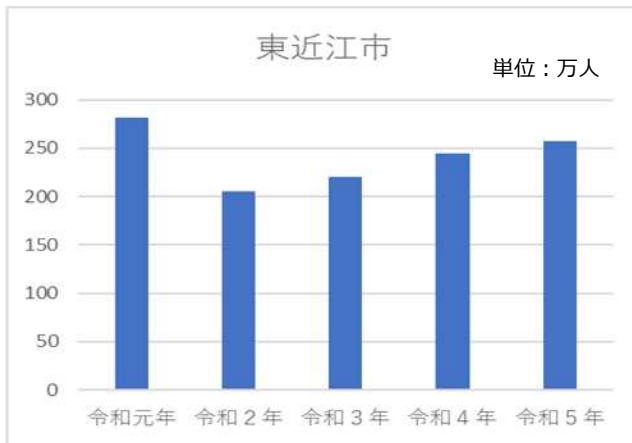


参加者 31人 ⇨ 就職 8人

観光・物産

●観光入込客数

令和5年の数値は速報値です。



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
東近江市	282	205	220	244	257
滋賀県	5,404	3,641	3,701	4,523	4,997

●観光・地方創生イベント

◇近江の聖徳太子魅力発信事業

聖徳太子ゆかりの社寺でのライトアップ事業や、観峰館での特別企画展における社寺宝の展示、近江の聖徳太子スタンプラリーの実施による誘客に取り組んだほか、8月23日から28日の期間、名古屋駅前の名鉄百貨店において工芸展を開催し、聖徳太子と地域の魅力発信を図りました。

また、12月3日には近江の聖徳太子魅力発信事業の関係者等が参加するセレモニーが行われ、令和4年5月から2年間にわたり実施されてきた「近江の聖徳太子魅力発信事業」は区切りを迎えました。



◇飛び出し坊や発祥の地プロジェクト

本市発祥の「飛び出し坊や」が誕生50年を迎えることから、フォトコンテストの開催やオリジナル看板の制作などに取り組み、その発祥の地としてのPRを図りました。

また、令和6年3月27日から5月19日までの期間、能登川博物館において企画展「飛び出し坊や発祥の地・東近江市飛び出し坊やと歩んだ50年」を開催しました。



【デジタル交付金（推進）】

◇SEA TO SUMMIT

自然とふれあいながら自分たちを取り巻く自然環境について再認識する環境スポーツイベント「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT」を5月20日、21日に開催しました。

5回目となる今回は、本市の豊かな自然や歴史・文化をより多くの人に体感してもらうため、初めて里山エリアを中心にコースを設定しました。

参加者数 211名



●木地師のふるさと発信

◇木地師やまの子の家にてフォーラム開催

7月17日、木地師やまの子の家にて木地師文化フォーラムを開催し、木地師の生活習俗や氏子かりについて講話をいただきました。

参加者 140名



◇ニュースレター発行

東近江市で活躍する木地師の紹介、木地師資料館の紹介や資料収集の案内などをまとめたニュースレター「木地師のふるさと」を発行しました。



●ふるさと寄附

◇ふるさと寄附が10億円を突破

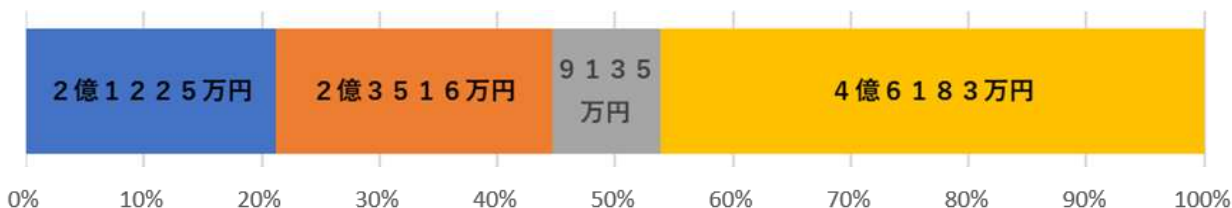
ふるさと寄附金の総額がはじめて10億円を突破しました。寄附額の約3割に相当する市内の物産等を返礼品とし、物産振興に努めました。

件数 11,065件 金額 1,000,975,400円

ふるさと寄附額(億円)



提案メニュー別寄附額



- 鈴鹿の山々から琵琶湖まで広がる自然や魅力ある歴史、文化、伝統を生かしたまちづくりに関する事業
- 誰もが暮らしやすいまちをつくるための担い手となる人材の育成に関する事業
- 安全で快適なまちをつくるための都市基盤の整備に関する事業
- 市長が必要と認める事業 (使途事業を選択されなかった分を含む。)

にぎわい創出

●中心市街地活性化

◇八日市駅前観光交流施設オープン

八日市駅前複合ビルの1階に、近江鉄道等を利用して来訪する観光客への市内観光情報の提供や、カフェでの食事や飲み物の提供、物販による市内の魅力的な商品のPRなど観光や地域情報を発信する施設が4月1日にオープンしました。



◇八日市駅前ロータリー・駅前土地区画1号公園を整備

八日市駅等の利便性向上のため、舗装やベンチ、観光案内版の設置など駅前ロータリーの環境整備を行いました。また、駅前土地区画1号公園の一部を芝生化し、ベンチの設置やイベントスペースを整備しました。



◇えいとてらす

八日市駅前の歩道上にテーブルや椅子を設置して、沿道店舗やキッチンカーで購入したものを飲食できる屋外カフェ「えいとてらす」を支援しました。



◇本町パサージュ

本町商店街を会場に様々な分野の作品や食品を展示、実演、販売し、自己を表現する場として開催される「本町パサージュ」を支援しました。



●市内における各イベントの開催

◇びわこジャズ東近江2023

4月29日、30日にびわこジャズ東近江が開催されました。



主催：びわこジャズ東近江実行委員会2023

◇聖徳まつり2023

7月22日に聖徳まつりが開催されました。



主催：聖徳まつり実行委員会



◇ぶらっと五個荘まちあるき

9月24日にぶらっと五個荘まちあるきが開催されました。

主催：ぶらっと五個荘まちあるき実行委員会



◇東近江市秋まつり

11月3日（二五八祭、物産まつり等）、4日（農林水産まつり）に東近江秋まつりが開催されました。

主催：東近江秋まつり実行委員会



11月3日 二五八祭



11月4日 農林水産まつり

●宿泊客等誘客の仕組みづくり

◇スポーツ大会・コンベンション等開催誘致

スポーツ大会、合宿、学会、大会などで市内宿泊施設で宿泊を伴う取組に対して、市外からの参加者の宿泊に対する助成をしました。

(市内開催の場合 1,000円/人※上限有)
(市外開催の場合 500円/人※上限有)

件数 12件 (市内開催11件、市外開催1件)



都市基盤

●近江鉄道

◇上下分離方式への移行

県や沿線自治体、交通事業者等が構成する法定協議会において近江鉄道の在り方等について議論され、令和6年4月1日から近江鉄道が運行を担い、県と沿線自治体でつくる「近江鉄道線管理機構」が鉄道施設の維持管理を行う上下分離方式に移行しました。



◇利用環境の整備

鉄道をより快適に利用できるよう近江鉄道新八日市駅に公衆トイレを整備しました。



◇近江鉄道全線乗車キャンペーン

近江鉄道全線が1日乗り放題できる「1デイスマイルチケット」を「ワンコインスマイルきっぷ」として安価に販売し、利用意識の醸成や利用促進を図りました。



●ちょこっとバス

◇ちょこっとバス学生応援お試しキャンペーン

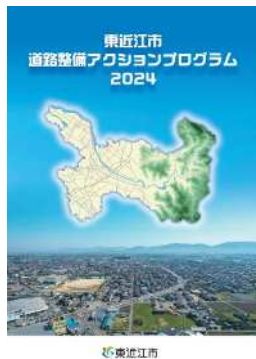
家族送迎などからちょこっとバスを利用した通学に転換するきっかけづくりとして、学生を対象とし、9月1日から14日までの期間で運賃を無料にするなどの取組を実施しました。



●道路整備

◇道路整備アクションプログラム2024

社会情勢の変化を踏まえて、更なる道路ネットワークの充実を図るため、今後10年間の道路整備の実行計画である東近江市道路整備アクションプログラム2024を策定しました。



◇妙法寺今堀線

◇小川・林・能登川線

通学路の交通安全確保のため、歩道を整備しました。



●地域医療

◇滋賀学園高等学校看護科・看護専攻科新設 ◇びわこリハビリテーション専門職大学八日市 キャンパス新設

持続可能で強固な地域医療体制を構築するため、医療従事者を育成する学校法人を支援することで、将来の地域医療を支える医療人材を育成する施設が市内に開設されました。



◇東近江市メディカルサポートセンターの管理運営 に関する基本協定締結

国立病院機構と東近江市が共同で地域医療提供体制の更なる充実を図るため、救急医療をはじめ、小児及び小児救急医療、周産期医療、精神・神経医療等を政策的医療に位置づけた指定管理協定を締結しました。

